

令和5年度学校教育教員養成課程

(学校推薦型選抜Ⅱ型)


小学校教育専修家庭科教育コース

中学校教育専修家庭科教育コース

小論文

表紙

[解答上の注意]

1. 試験開始後、表紙1枚、問題用紙1枚、解答用紙1枚、下書き用紙1枚があるか、確認しなさい。
もし、欠落のある場合には挙手して、そのむねを申し出なさい。
2. 解答用紙の受験番号欄に、受験番号を忘れずに記入しなさい。
3. 解答は、指定された解答用紙に、指定された文字数で、横書きで記入しなさい。
句読点も1字に数えます。
4. 解答用紙の太線  部分には、何も記入しないようにしなさい。
5. 試験終了後、解答用紙を回収します。(全1枚)
表紙を含め、問題用紙、下書き用紙は各自持ち帰りなさい。(全3枚)

令和5年度学校教育教員養成課程
(学校推薦型選抜Ⅱ型)
小学校教育専修家庭科教育コース
中学校教育専修家庭科教育コース
小論文

問題用紙 全1枚

問題 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

食は命の源であり、私たち人間が生きるために食は欠かせない。また、国民が健康で心豊かな生活を送るためには、健全な食生活を日々実践し、おいしく楽しく食べることやそれを支える社会や環境を持続可能なものにしていくことが重要である。

平成17年6月に食育基本法(平成17年法律第63号)が制定され、国は15年にわたり、都道府県、市町村、関係機関・団体等多様な関係者ととともに食育を推進してきた。その間、日常生活の基盤である家庭における共食を原点とし、学校、保育所等が子供の食育を進め、都道府県、市町村、様々な関係機関・団体等、地域における多様な関係者が様々な形で食育を主体的に推進してきた。

しかしながら、我が国の食をめぐる環境は大きく変化してきており、様々な課題を抱えている。

高齢化が進行する中で、健康寿命の延伸や生活習慣病の予防が引き続き国民的課題であり、栄養バランスに配慮した食生活の重要性は増している。人口減少、少子高齢化、世帯構造の変化や中食市場の拡大が進行するとともに、食に関する国民の価値観や暮らしの在り方も多様化し、健全な食生活を実践することが困難な場面も増えてきている。古くから各地で育まれてきた地域の伝統的な食文化が失われていくことも危惧される。

食を供給面から見ると、農林漁業者や農山漁村人口の著しい高齢化・減少が進む中、我が国の令和元年度の食料自給率はカロリーベースで38%、生産額ベースで66%と食料の多くを海外からの輸入に頼っている。一方で、食品ロスが平成29年度推計で612万トン発生しているという現実もある。

また、近年、日本各地で異常気象に伴う自然災害が頻発する等、地球規模の気候変動の影響が顕在化しており、食の在り方を考える上で環境問題を避けることはできなくなっている。

(「第4次食育推進基本計画」農林水産省、令和3年3月「はじめに」より一部抜粋。
表記を一部変更した。)

問1 我が国の食をめぐる現状と課題について、この文章の内容を200字以内でまとめなさい。

問2 我が国の食をめぐる課題について、家庭科では具体的にどのような内容の授業をすることが考えられるか。あなたの考えを400字以内で述べなさい。